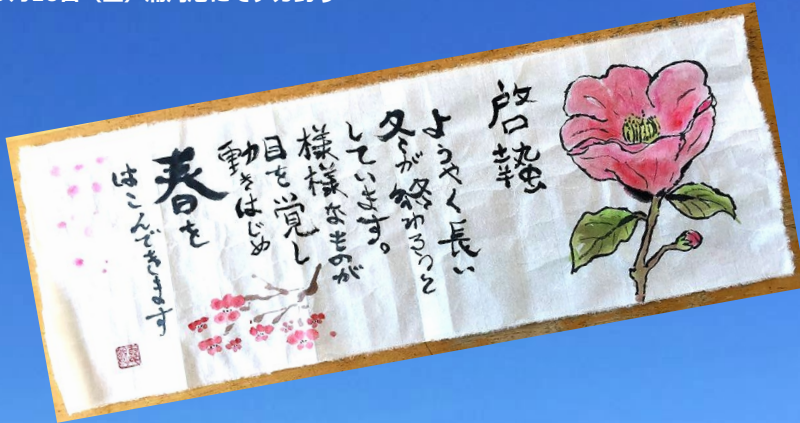


マルセイニュース 3月号

発行日 2018/3/23
株式会社 マルセイ
浦河町東町うしお1丁目
〒057-0005 TEL.0146-22-5123

3月10日（土）浦河港にてチカ釣り



春が来るよー！



タルマイラスト&絵手紙 様似町 飯田比呂美さん



3月5日（月）。地域支援包括センターの移動に伴い、「まちなかステーション」がオープン。世代相互の交流を図る拠点としての活用が期待されています。3月17日（土）、浦高生の有志ボランティアによるオレンジカフェでおいしいコーヒーをいただきました。併設されている運動ゾーンやキッズゾーンからも利用者の明るい笑い声が聞こえていましたよ。好天に恵まれた浦河港では、チカ釣りを楽しみに集まった若者たちの姿を発見。あまり釣れなくても、仲間との楽しいひとときですね。どちらも浦河の若者たちの明るい笑顔に癒されました^^



運動ゾーンでは「リアル野球盤」！



明るい笑顔で「浦河高生カフェ」オープン



1、保健師さんもいるので、気軽に健康相談もできそうな「まちなか元気ステーション」。次回は、運動ゾーンで「振動マシン」を利用してま〜す♪



今季の灯油配送、無事に終了しました ご利用ありがとうございました！

この冬は降雪も多く、厳しい寒さが続きました。悪い道路状況に悩まされながらの灯油配送。待ち遠しかった春の日差しを感じながら、事故もなく繁忙期を終了できてホッとしています。ご利用ありがとうございました。



ようやく春の気配を感じる今日この頃。豪雪に見舞われた地域のご苦労とは比較になりませんが、それでも、もう雪はいらないよ〜という悲鳴も聞こえた冬が終わってひと安心しています。

今年の浦河は、雪があつて大変でしたね。当社も雪かきのほか、凍結して開かなくなった車庫の扉の雪割りや暴風で砂まみれになった事務所の砂の洗い落としなど、仕事以外の雑事に時間を割かれた冬でした。3月初旬の大嵐では、会社が飛ばされそうな強風に怖い思いもしました。(笑)あの大雨で町中の雪がすっかり消えてから景色は冬から春へと一変しましたね。

**引き続き
マルセイの灯油配送を
お願いいたします！**

今季の配送は主に最年少の圭佑くんが担当して、厳しい路面状況の中、タンクローリーが雪に埋まってしまったり怖い思いも何度か経験。悪天候の中でも頑張りました。夕方、配送を終えたローリーが会社に戻ってくるのを毎日みんなが待ちました。事故なく冬が終わってホッとしています。今シーズンもマルセイの灯油配送をご利用いただいたお客さま、ありがとうございます。引き続き、今後ともよろしくお願いたします！



まず身の安全を

「大きな地震」が来てもあわてないように 地震発生時の注意点を確認しておきましょう！ 地震発生後の注意事項

2011年3月11日の大震災から7年が経過しました。最新の地震予知によると400年おきに発生している大きな地震が、いつ起きても不思議のない中で私たちは暮らしているそうです。地震への備えが必要そうですね。地震が起きた時の最低限の注意事項も、いま一度ご確認ください。

自分の身を守りましょう！

●まず、身の安全を確保してください。

(棚や棚の上に乗せてあるものが落ちてきたりするので、揺れがおさまるのを待ちましょう。)

火の始末をしましょう！

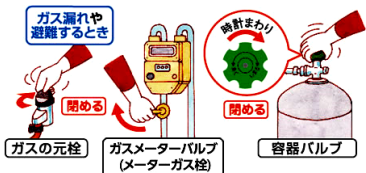
●ガスを使用しているときは揺れがおさまってから器具栓を閉めてください。

ガスを使用中に強い地震(震度5相当以上)が起きたときは、ガスメーターが自動的にガスをしゃ断します。(使用していないときは、しゃ断しない機能になっています。)

ガス使用はやめて、元栓を閉めて！

●ガス漏れやガスの臭いがするときは、ガスの使用をやめて、器具栓、ガスの元栓、ガスメーターバルブ(メーターガス栓)および容器バルブをすべて閉めて、LPガス販売店か緊急時連絡先に連絡してください。

●避難するときは、器具栓、ガスの元栓、ガスメーターバルブ(メーターガス栓)および容器バルブをすべて閉めてください。



揺れがおさまったら

※家屋等に被害が発生した地域では、ガス漏れや容器の点検を順次行います。点検の際にはご協力をお願い申し上げます。





「マルセイさんにお任せしますね」 信頼にお応えできる仕事を！

「老人ホームへの入居が決まったので家を片付けて欲しい」とお電話をいただきました。長いお付き合いのお客様からです。早速お伺いしたところ、「全部お任せするのでマルセイさんの都合の良い時によろしくお願いします。」とその場で家の鍵をお預かりしました。安心して私たちにお任せしていただけることに感謝しながら、数日後、しっかりと担当させていただきました。

「何かあるときは
マルセイさんにお願ひしますから
その時はよろしくね」

これは、私たちがお客様から時おりかけていたただく言葉です。今回の仕事も、「いずれ私も老人ホームに入居する日がくると思うけど、その時にはマルセイさんに色々とお願ひするのでよろしくね。」と以前からお話をされていた方からのご依頼でした。本当にありがたいです。

『森の六畳書房』へ 書棚ふたつは

「全部お任せするので使ってくれる人がいたら、どれでも利用してもらってね。」今回は、そんなお客様の気持ちを活かすこともできました。

閉店した『六畳書房』を『森の六畳書房』として復活させた店番さんが、ガラス戸付きの書棚を探していました。ピッタリの本棚がふたつあり活かしていただけのこと。本屋のオープンにも間に合い、みなさんにとっても喜んでいただけました。

全部お任せしますね

3年以上も前から順番待ちをされていたそうです。入居が決まって安心されたのでしょうか。声も明るく弾んでいらつしやいました。

暖かくなつたら、今年もまた片付け仕事のご相談をいただけるでしょうか。これからも、お客様からの信頼にお応えできる会社を目指して頑張ります。



マルセイのスタッフ全員で片付けた、今年初めての家1軒全ての片付け仕事でした。処分するモノは全て、蒲河町のゴミのルールを守って分別しています。

都会の人も、みんな頑張つて働いていました 華のお江戸へ 夫婦ぶらり旅

3月初旬 東京2泊3日

思い出はこれからの人生の宝物になるはず。だから、行きたいところがあったら行けるときに行っておこうと、遅い正月休みを利用して夫婦で東京旅行に出かけました。ネットで探した格安のパック旅行をさらにクーポンを使って値下げに成功～♪地下鉄では何度も迷いながらも、華のお江戸のぶらり旅を楽しんで来ました^^



まだ人気のない早朝の歌舞伎座前で記念撮影。次はいつ来れるでしょうか。また来れる日を目標に、頑張ります^^

行ってきました！ 仕事は若者たちとばわふるさんに任せて、早めの還暦祝いをしてもらった私たちの東京旅行です。歩いた歩いた。3日間で3万5千歩歩きました！ 階段がしんどかったマックスに比べて、アポイ登頂を目標に頑張つていたので、今年の社長は余裕で歩いていましたね。(笑)

立ち食いだけど 職人さんが握るお寿司です！

先ずは上野を目指します。日曜の朝は意外と人が少ない東京でした。と言っても、やっぱりわんさんと人がいます。(笑)上野駅に到着。先ずは駅舎内の立ち食い寿司屋さんへ直行。早めの昼食をいただきました。安価で気軽。でも、本格的なお寿司が楽しめるので社長のお気に入りのお店です。うくん。東京はマグロが違うね！ アナゴもおいしい！

鈴木本演芸場では、馴染みのお客さんが缶ビールとお弁当、おつまみを持参。満腹だった私たちも、お茶と江戸前おかきを買って中央前方の席を確保。すっきりリラックスして、落語に奇術、紙切りや漫才など、14組の芸人さんによる番組を4時間に渡って堪能しました。これで入場料二千八百円って安すぎませんか？おなががよじれるほど笑って大満足！同時に、芸人の皆さんの仕事ぶりには感嘆しました。前座から真打まで、東京の旅では演芸場もお勧めです！



また行ってみたい鈴木本演芸場前

芸人さんたちの芸を堪能〜！

日は、上野の鈴木本演芸場の寄席。昼の部(12時半〜4時半)に行くこと決めていました。お腹いっぱいだけど、今行っておかないと行き逃すかも？と、次は甘味処へ。社長も一緒に甘味を楽しみますよ。今回はぜんざいに大満足。ほら、嬉しそうですね。



「ぜんざいうまい！」と完食〜

演芸場から外に出ると、夕方の上野はあふれ返るほどの人。次は、アメ横センタービルへ。色々な国の食材が何でも売られているとテレビで紹介されていました。ワクワクしてビルの地下へ。買いました！重い中華料理の瓶詰調味料まで。社長の両手はあつという間に買い物袋でふさがれて、荷物持ちのおじさん姿に。すみませーん。そしてありがとう、社長。

アメ横の串揚げ屋さんで夕食 若者と語りあいました

買い物が終わると大都会の夕暮れでした。ガード下に数多く並ぶ飲食店の中の串揚げのお店で相席のテーブルを確保。一本百円のメニューの中から色々頼みました。隣に座つたのは気持ちの良い若者たち二人。さつきからモンベルのカタログを手にしてうれしそうに会話している様子が、当社の若者たちとかぶりました。「お話してもいい？」とおばさん力を発揮して声を掛け、楽しい食卓を共有しました。毎日の仕事は忙しく、昨年は50日しか休日がなかったそうです。「ブラックですね」と言つたところ「実家です」と苦笑いの返答が。そうかい、そうだよね。中小零細はみんな大変ですね。



上野公園ではもう桜が

「浦河ですか？知っていますよ」

うれしかったのは、この若者たちが浦河を知っていたこと！なんと浦河の共同馬主さんの一人でした。北海道のあこがれの馬産地に話が弾み、それはぜひ一度、浦河に遊びにおいでよとメールアドレスを交換。馬を見て、乗って、登山も釣りも楽しみたいそうです。それら全部をかなえられる環境を持つ浦河は、やっぱりいい町なんですよ。

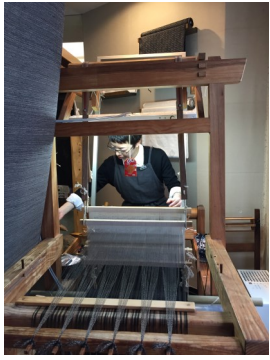


三月大歌舞伎のちらしです

一杯のビールに酔って大満足。お二人に別れを告げて、歌舞伎座の近くに予約した小さなホテルを指して銀座へ向かいました。

2日目。朝食は近くのスタバへ

もダントツに気持ちのいいお店でした。働いている人がとにかく感じが良く、特に店長さんの応対と笑顔は最高。さわやかな気分の朝です。こういう仕事の姿勢は見習いた。



あれ？座っていた窓辺の席から外に気になるお店を発見。呉服屋さん？ちよとカギを開けて出社した若い女性が、開店前の店内の一部で機織りを始めたのが見えました。おっ！「ちよとと私、あそこに行ってみるね」と社長を置いてそのお店へ。織られていたのは大島紬で、張られていた1千本以上の経糸に感動！毎日ここで織っているそうです。翌朝も少しだけ立ち寄りしましたが、次回は開店時間にお伺いしたいお店でした。（間違っても買えませんけど…）

朝から機織り機に向かう女性とお話できました

たいと思いました。広い店内の2階は静かで落ち着いた雰囲気です。そつとのぞき見ると皆さん勉強をしているか、仕事をしています。都会の人はこうして毎日、出社前の早朝から働いているのかなあ。



ヘイト（憎しみをあおる）本が見当たらない本屋、見つけ！

古本屋が並ぶ神保町で目的の本屋さんを探すが社長ですが、いくらか携帯アプリを使って探してもなかなかたどり着けません。方向音痴の才能が邪魔するんですね。それでも、魅力的な品ぞろえの棚を持つ本屋さんに出会えて大満足。神保町は、時間があつたらもつとゆつくり楽しみたかったですね。

次は南青山へ。フォトグラフィア・クスマエリカさんの作品を見に展示会場へと向かいました。



自ら撮影した写真のみを用いて制作されたデジタルカラーージュ作品は透明感と獨創性があつて美しかったです。札幌で見逃した作品を東京で見ることができて大満足！行けて良かった。ザッと私たちの思い出に残ると思えます。

ホテルで少し休息を取ってから、お弁当を確保するために私だけが1足早く歌舞伎座へ。あつ！でも、ちよととまずかったかな…。不安は的中。後から来るはずの社長が現れません。探しに行ってみると、大慌てで走って来る社長を發



見！歌舞伎座へと向かったはずが、方向音痴の社長の足は反対方向へ行っていたようです。やれやれ。これだからいつも、気がつくとき先頭を歩いてしまう私です。（笑）楽しみにしていた坂東玉三郎と片岡仁左衛門の二人での踊りについて見ました。若かった頃の玉三郎が見たかったなんて思っています。めんなさい。今も素晴らしい！



ちよと歌舞伎の時間です！

のお二人、素晴らしすぎます。積み上げて来た芸の奥深さのために息が出ました。

歌舞伎座では、お客様を眺めているのも楽しみのひとつです。今回は亡き勘九郎のお姉さんの波乃久理子さんが社長のすぐ前の席に。私の横にはダイヤモンドがたくさんちりばめられた指輪とイヤリ

ングを付けた、テレビで見たことのある女性が座っていました。その間には北海道から来たお上りさんのわたしたちふたり。（笑）上野の鈴木本演芸場も銀座の歌舞伎座も、どちらも人間味が感じられて好きだなあ。そして、芸の道を究めて生きる人たちは本当に素晴らしいと思います。今日は良い一日だったと、大満足して就寝しました。

高層ビルの窓ふき作業にはびっくりでした！



昨日と同じスタバで朝食を取り、お別れする銀座の街を歩いていると、はるか頭上で働いている人を発見！スパイダーマンのようなこの人たちは、毎日高層ビルの窓ガラスを拭いているそうです。田舎では見る機会のない仕事ですね、体をはったお仕事。苦労様です！

帰り道、出光美術館へと向かいました。『色絵 Japan CUT E』のタイトルの江戸時代に花開いたカラフルな焼き物の展示はとてとても楽しめました。特に、古九谷と柿右衛門の作品には感動！時代を超えて残る手仕事で素晴らしいです。写真で紹介できないのが残念です。今度いうとめちや

ポップな柿右衛門の狛犬が本当に好みでした。また見たいです。

美味しい手作り弁当でお昼



空港へと東京駅に向かって歩いていた高層ビル街で、キッチンカーが並ぶ屋台村に遭遇。楽しいな♪早速お弁当を買って、ここでお昼に。常連らしきお客さんが次々にお弁当を買って、人慣れたスズメがおすそ分けをもらいに寄って来ました。安くておいしく、心も体も温まった食事でした。若い女性一人でやっている地球食堂さん。ファンが多いでしょうね。



と、ここで紙面が尽きてしまいました。都会の暮らしが垣間見えるので好きなモノレール

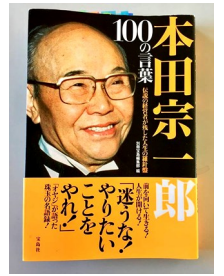
からの風景写真で、今回の旅日記は突然おしまいです。

マックス

最近読んだ本の中より…

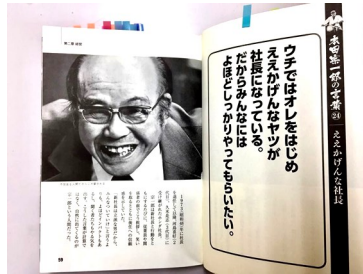
『本田宗一郎100の言葉』

編集 別冊宝島編集部 発行 株式会社宝島社



人を笑わせることが大好きだった宗一郎。ちょっとした料亭に入っても女将相手に冗談を言い続ける。「ここはいい店だが唯一の欠点はダンナがいることだ」「ビールが薄いんじゃないか。酒っぽい水だな」「えらい料理が出てくるな。きっと他の客がキャンセルしたんだろう」たちまち店内は笑い声で満ちたものになる。(本文より)

本田技研工業の創業者本田宗一郎。昭和の力リスマ経営者。浜松市で車両修理の町工場を興すところから、宗一郎氏の企業家人生はスタートします。戦後まもなく「タバタ」と呼ばれた軽バイクをつくり大ヒットします。その後900CCのカブを世に出し、これがまた大ヒット。以降オートバイ、四輪自動車、の製造にとりくみいずれも大成功。80年代後半からはF1レースを何度も征する世界のHONDAを築き上げました。本書は伝説の経営者本田宗一郎氏の名語録集です。



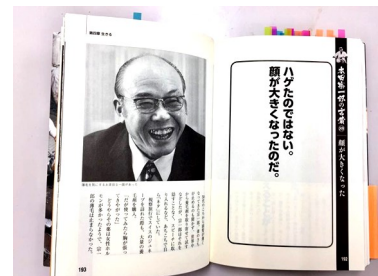
宗一郎氏が残したたくさんの著作から抜粋してご紹介したような氏の個人となりを物語る逸話の方が、名詞より心に残りました。どんなに有名になっても変わらない人柄だったようで、それがちまたの人々から敬愛

された理由でした。例えばこんなエピソードが紹介されています。

幹部や社員と芸者を呼んで宴会を楽しんでいた宗一郎。だが社員たちはいつい仕事の話に熱が入り、芸者の踊りに心が向かない。翌日の朝、宗一郎のカミナリが落ちた。「お前たち、客だからといって偉そうにするな！」芸を真面目に見ないというのは、相手の身になれない人間である。人生の初歩ができていない。宗一郎はそう言いたかったのである。(本文より)

一度会社を売ってしまったことは、本書で初めて知りました。戦後すぐに、持っていた会社をトヨタに売却。今の価格で1億円くらいでした。宗一郎はそのお金を、芸事や遊びに一年ですべて使ってしまった。そして決意新たに本田技研を創業しました。そのときのことを述懐してこう言います。「過去を振り返ってみてひとつも悔いがないのは、もうかったときにはみんな使ってしまったからだ。それだと盗まれたくないし、何よりの貯蓄だと思おう。」当時宗一郎氏は40才。今だと60才くらいにあたるでしょう。つまり今のわたしです。わたしには到底こんな胆力はないです。ま

あたいていの人には無く、本田宗一郎が稀有な人物だったのです。



世界のホンダの社長となっても、ホテルの宿泊名簿には「会社員」と記入したといひます。工場のある鈴鹿市が大きなHONDAという看板を掲げたときは、「会社の若い連中が天狗になったらとんでもないことだ」と、お願いして取り外してもらった本田宗一郎。

読んでみると、氏が感覚として持っている庶民の常識や真つ当さを、人々が愛してやまなかつたことが分かります。鈴鹿市に工場を決めた経緯もじつに宗一郎氏らしいです。他の自治体が接待ばかりだったのに、鈴鹿市は詳細に土地の説明をしてくれたが出たのは洪茶一杯だけ。宗一郎はその実直さが気に入る、鈴鹿を工場に選んだといひます。

社長

泉邦宏 & 立花泰彦 北海道ライブツアー2018

4月14日(土) 浦河町総合文化会館 B1ミニシアター 開場18:30 開演19:00
前売り 2,000円 (当日 2,500円) 問い合わせ 090-4223-2476(立花)



2011年に浦河へ移住した立花泰彦さん。2015年1月から、大黒座を会場に月に一度のベースソロライブを継続されています。昨年初めて開催された『うらフェス』は、「音楽で浦河を豊かな町に！」という立花さんの思いが見事に開花したかのような魅力的なお祭りでした。ゲストも迎えて、浜町通りと文化ホールを会場に町民有志と共に奏でた楽しい音楽は、今なお記憶に新しいですね。

4月14日(土)、立花さん旧知のサクソ奏者の泉邦宏さんとのライブがミニシアターで開催されるそうです。『全身音楽家』としても知られ、様々な楽器を操るマルチプレイヤーの泉さんとのライブは浦河がツアーの最終日。ポスターを見ていただけでも楽しそうですが、興味のある方は足を運んでみませんか。きらめく音楽のシャワーを浴びに、私も行きま〜す♪



マックス



基本、カレー、豆腐の3種タルタルをたっぷり！



コンロでも
グリルでも ガスでおいしくクッキング

チキン南蛮×3種ソース

グリル料理はグリルにお任せするだけなのでとても簡単！
ということで「チキン南蛮」を試してタルタルソースには凝ってみようと3種類を用意♪でも、今回はうっかりミス
の連続。それでもタルタルソースも含めて美味しかった～♪皆
さんのお好みはどれかな？味の違いをお試しくださいね^^



●材料（2人前）

鶏もも肉 … 小2枚(大なら1枚)
塩・こしょう … 各少々
小麦粉 … 適量
溶き卵 … 1個分
サラダ油 … 適量

A 砂糖 … 大さじ2
しょうゆ … 大さじ2
酢 … 大さじ2

「もも肉」でも、あっさりした「むね肉」でもOK!



小麦粉と溶き卵がつくのですが、忘れたままグリルへ…でも大丈夫でした!



●作り方（参照 tamiめしのレシピ）

1. 鶏もも肉に塩、こしょうをふって、小麦粉を薄くはたき、溶き卵にくぐらせる。
甘辛ソース用のAの調味料を合わせておく。
2. サラダオイルで鶏肉をこんがり揚げ焼きする。
 - グリルの場合 → グリル用鍋にサラダ油を入れて弱めの強火で13分程度。焼き色がついたら弱火にして、中まで火が通るまで焼きます。
 - フライパンの場合 → 多めのサラダ油を熱し、強めの中火で両面こんがり焼き色をつける。→焼き色がついたら、弱火にしてふたをして蒸し焼きにする。
3. 肉に火が通ったらペーパータオルで余分な油をふき、Aを入れてからめる。



🐱 今日の評価なーし！

だって…色々大失敗。おかゆみたい
な雑穀ご飯に始まり、途中の手順も一部
はすっかり忘れて調理進行～。「ちゃん
とレシピを見て準備しないからだよ！」と
しかられながら、それでもグリルの中に加
えたソースはしっかりと鶏肉に絡めて味
付け^^皮をパリッと焼き上げることは意
識して忘れず、何とかおいしく完成～♪

ご安心ください。ちゃんど美味しかった
ですから^^用意を忘れた「梅干し」は
「味噌」に変更。これもバッチリ！作った
タルタルソースは、3種どれもが美味し
かったです。「豆腐か…」と明らかに興味
なさげだったばわふるさんでしたが、豆
腐タルタルをお代わりしてましたから
(笑)タルタルソースはパンに載せても、
ドレッシング代わりに野菜にかけてもお
いしいと思います。お試しください。



固めのしっかりタルタル 基本のタルタル

材料(作りやすい分量)
ゆで卵(熱湯で10～11分ゆでる)…1個
玉ネギ(みじん切り)…1/4個
マヨネーズ…大さじ2
A レモン汁…小さじ1
塩・こしょう…各少々
パセリ…適量

作り方

1. ゆで卵をボウルに入れてフォークで粗くつぶす。
2. 1に玉ねぎとAを加えて混ぜ、仕上げパセリをふる。

はずれなし！男子受け！ カレータルタル

材料(作りやすい分量)
ゆで卵(熱湯で10～11分ゆでる)…1個
玉ネギ(みじん切り)…1/4個
ピクルス(粗めのみじん切り)…2～3本
マヨネーズ…大さじ2
カレー粉…小さじ1

作り方

1. ゆで卵をボウルに入れてフォークで粗くつぶす。
2. 1に残りの材料全てを加え、混ぜ合わせる。

卵不使用の和風 豆腐タルタル

材料(作りやすい分量)
木綿豆腐(水気を切る)…70g
梅干し(種を除きペースト状)…1/4個
ピクルス(粗めのみじん切り)…1～2個分
大葉(粗みじん切り)…3枚分
きゅうり(みじん切り)…1/4本分
マヨネーズ…大さじ2

作り方

1. 豆腐をボウルに入れてフォークで滑らかになるようにつぶす。
2. 1に梅干しペーストとマヨネーズを混ぜ大葉ときゅうりもさつとあえる。

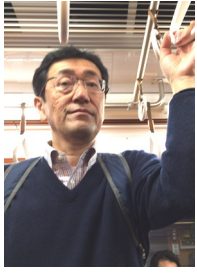
社長のちよっと長いコラム

「道に迷う人、迷わない人」

地図の読めない男は魅力がない。そんな記事を雑誌が何かでむかし読みました。「いざ」というとき頼りになりそうもない」というのが、その理由でしょうか。男性のみならず、スマホの地図が難なく理解できますか？それともそんなものが無くても、まったく道に迷いませんか？

恥ずかしながら告白します。わたしは方向音痴なんです。しかも驚くなかれ、スマホの地図アプリがあつても道に迷ったりすることがあります。もちろんそんなときは、このアプリは精度が悪い！と機械のせいにしていきます。音声をオンにしてイヤフォンでガイドしてくれたら、まあなんとかたどり着けるといってレベルです。

以前に仲の良い友人夫婦と旅行したときのこと。朝食のあと友人夫婦は仕事で部屋に戻りました。わたしの妻もちよっと休みたいということで、友人妻とわたしで観光スポットのひとつである旧い教会まで歩いて行くことにしました。この友人妻ですが、やはり方向音痴なんです。目的地は歩いて10分もかからないところですが、行けるに決まってるだろうということになり、2人でぶらぶらと歩き始めました。しかし歩き始めて数分も経たないうちに、2人とも現在地がつかめなくなってきました。なにしろ人ごとの返しているし、路地は狭いので、果たして右



に行くべきなのか、それとも左なのか分らない。「こっちだよね。」とつ

ぶやきながらなんとなく右や左に曲がってみます。困ったぞ、と思い始めたときに聞き覚えのある声がうしろからしました。「その2人、なんでここに居るの？」振り返るとホテルにいるはずの妻が立っていました。ちよっと買い物に出てきたのです。「あなたがたの目的地はあつち。こっちじゃなくて逆だよ。そこまっすぐ下がって右に行きなさい！」

振りかえると、たしかに見覚えのあるゆるやかな下りの道があります。2人で行かれたとおりに降りて右に曲がり、振り出した戻って歩き始めました。小さな店の店頭にいるお姉さんに聞き、「すぐ向こうよ」と言われて歩き、歩いている旅行者3組に訊ね、しかも2人はスマホで場所を教えてくださいましたが、どうしても目的地にたどり着けません。

「直ちゃん。帰ろうか…暑いし。」
「そうだね。」「明日祥子ちゃんに連れてきてもらおうよ。」「そうだね。」
帰り道で、道をたずねたお姉さんに再会しました。どうでした？「素晴らしいかったですよ、と聞いているのです」との問いに、行けなかったと答えたときの、信じられないと驚いた表情が忘れられません。

翌日、妻に率いられて3人で目的地の旧い教会へ行きました。あつという間にたどり着きました。着いてみると、なんでこんな大きな建物に気づかなかつたんだらうと我ながらビックリしましたね。妻に言われまして。「二人とも、今日は安心して着いてきたでしょう？」ふたりでうなずく。「今日は何にも考えなくていいよ。ここまで来たでしょう？」さらさらうなずくふたり。「だからあなたたちは道に迷うの。だから方向音痴なの！」「ごもっともです。これからの人生の目標の一つに、脱方向音痴をかかげたいと思います。」

さのばわふる日記



マルセイのアイドル さっちゃん



今日は、当社のパートのさっちゃんのおはなし。年下の友達に、「坂本さん、全然変わらないうすよね。前よりも若くなっていますよね。」と言われたらしい。更に、「自分達の永遠のアイドルですから」と言われたと話してくれたさっちゃん！

「マナージャーの私の役目としてはアイドルを売り出さないといけません。仕事の指示を出す前には、「アイドルにこんな作業をお願いするのは申し訳ないけど」「アイドルにそんな口の聞き方はしないでください。」と、会話の中に「アイドル」を連発。

すると、さっちゃん。「あ、話した私がバカだった。何で話しちゃったかな」と後悔している様子。全員で片づけ仕事の帰りに、軽ワゴンには荷物満載。後ろにも乗らないとならないので、一人がお座りして乗れるくらいのスペースをあげ、還暦一歩手前のマックスさんに、こうお願いいたします。

「申し訳ないのですが、アイドルをこんなところに座らせるわけにはいかなないので、こちらに乗っていただけますか？」と言うと、「当然です。アイドルは助手席に座ってもらって下さい。」と答えて荷物と同化するマックスさん。そして、会社へ帰ってからもアイドルを茶化す私。すると社長が笑いながら、「これって、パワハラって言われるんじゃないの」「そうだよ！裁判したら私が勝つよ！」「とさっちゃんの反撃。何を言ってるんだか、結構さっちゃん

は喜んでいきますからね。」

しかも、その気になつてきているし…もう少しアイドル気分浸らせておきましょう。どこかで見かけた声をかけてください。きつと慌てて逃げますからね。」

発行 株式会社マルセイ
 灯油・プロパンガス販売・機器修理
 廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業
 夏季期間(4月~9月) 定休日: 日曜・祝祭日 営業時間 8:30~6:00 土曜3:00

編集 おはなし家(マックス) 発行部数 3400部
 【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com
 【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください
 〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3
 TEL 0146-22-5123

8、さっちゃんとはばわふるさんは若い頃に銀行で一緒に働いた仲良しさん。普通だと思いきりパワハラの話でじゃれ合っている二人です ^^